



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

年明け直後は欧州問題を材料に弱気の虫が疼き続けていた世界の金融市場ですが、先月中旬以降は投資マネーの流れがいわゆるリスクオンに変化し、世界の株式市場は軒並み上昇に転じました。

何と云っても世界最大の経済規模である米国の景気二番底懸念が薄れ、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を示す指標が概ね改善に向かっていることが、投資家心理を和らげているのでしょう。

年末クリスマス商戦は好調で、米経済の7割以上を占める個人消費の回復と雇用の落ち込みの改善が好材料です。その足取りはまだ不安定で脆弱ですが、市場全体に安心感が始めている一番の要因は、G20諸国の景気下支えに対するコミットメントでしょう。つまり各国の今年の金融政策ははっきりと緩和方向で合致しており、世界経済全体を底上げしていこうというコンセンサスと捉えられること、それに主要国での首脳交代年でもあることから、暫し政策は経済重視に傾くと考えられます。

欧州債務問題の解決への道のりはマラソンの如く長い旅となりますが、その中心であるドイツはユーロ安と金融緩和による資金流入で景気の急回復が見込まれます。米独とも既にインフレ率を加味した実質金利はマイナスで、経済活動に追い風となる金融環境を政府が整えているわけです。

他方日本は現政権が財政規律一辺倒の政策指向で、デフレが進行し実質金利は大幅なプラスです。これは円高更なるデフレという負のスパイラルへ導いてしまいます。それでも復興需要で一定の成長回復は織り込まれ、今年の先進国経済はメディアが報じる悲観とは違い決して悪くないでしょう。

新興国経済は中国・インドなど踊り場にありますが、一定の新たな需要が先進国経済とのバランスを支え、地球経済の成長巡回速度は実質4%超へと徐々に上がるものと考えています。

ようやく市場全体に楽観の芽が出始めました。グローバル化の大河の流れに乗る「セゾン号」は、昨年しっかりと充電したエネルギーを加速につなげられる風向き変化を感じています。慌てずどっしりと進んでまいりましょう！

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00～17:00 土日祝日、年末年始除く）

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド SAISON Vanguard Global Balanced Fund

1月の市場動向

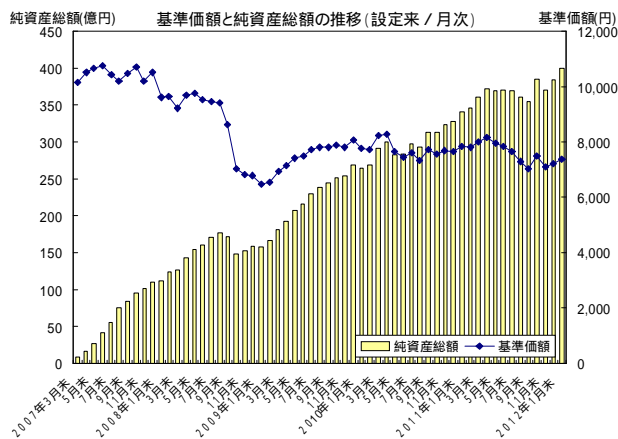
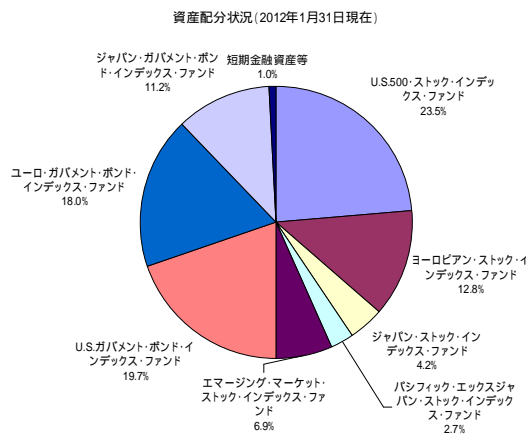
株式：【ユーロ圏の債務不安が和らぎ、経済の先行きに対する悲観的な見方が後退すると共に金融緩和期待が高まって上昇】
欧州中央銀行（ECB）の資金繰り支援策により、ユーロ圏の債務不安が和らぐなかで、米国経済の先行きに対する楽観的な見方が広がると共に、物価の落ち着きなどを背景に金融緩和観測が高まったことで、先進国、新興国ともに株式市場は上昇しました。

債券：【景気の先行きに対する悲観的な見方が後退する一方、低金利の長期化観測から主要国の債券市場は結果的にあまり変化せず】
米国を中心に景気の先行きに対する明るい見方が広がったものの、低金利の長期化観測も高まっていることから、米国、日本、ドイツの債券市場は方向感のない展開となりました。一方、イタリアやスペインの国債に対する懸念は和らぎ、大きく上昇しました。

為替：【世界経済の先行きに対する明るい見方が広がって高金利通貨が上昇しドルと円が下落。景気低迷の長期化観測が高まりユーロも軟調】
米国を中心に世界経済の先行きに対する明るい見方が広がったことから、高金利通貨が上昇する一方でドルと円が下落しました。ユーロは債務問題への警戒こそ和らいだものの、域内の景気低迷と金融緩和の長期化観測が高まったことで軟調な値動きとなりました。

基準価額と純資産総額及び騰落率（2012年1月31日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
7,371円	399.7億円	-26.29%	2.19%	-3.66%	-5.99%



1月の運用状況

今月の投資スタンス

今月も当ファンドは定められた投資比率に従って投資を行っております。

ファンドマネジャーからの一言

1月度は、先行きへの明るい見方が広がったことを受けて株式市場が上昇するなかで、金融緩和策の長期化観測が高まって債券市場も底堅い展開となったことを受けて、投資先ファンドが上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。一方、為替は対ドルで円高となったことが基準価額の下落要因となりましたが、投資先ファンドの影響度が相対的に大きかったことからファンドの基準価額は上昇しています。

変動要因については、右側の図1、図2もご参照下さい。
ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

運用部 瀬下 哲雄

図1 1月度の投資先ファンド価格の変動による影響
月末の投資比率に基づく概算値 / 投資先ファンド通貨建て

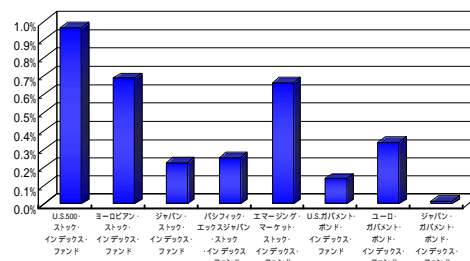
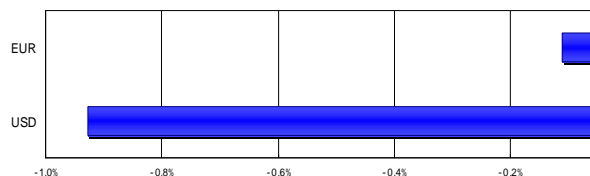


図2 1月度の為替変動による影響
月末の投資比率に基づく概算値



当ファンドの特色

幅広いリスク分散

世界 30 ヶ国以上の株式と 10 ヶ国以上の債券に分散投資。だからリスクを分散して安定的な成果が期待できます。

国内最低水準の手数料

販売手数料ゼロ。購入時に余分なコストのかからないノーロードファンドです。同じタイプのファンドの中では国内最低水準の手数料を目指しました。

バンガード・グループのファンドに投資するファンド・オブ・ファンズ

バンガード・グループは世界最大級の投信会社です。また、ローコスト・ハイクオリティ運用のリーダーとして認められています。投資家の利益を守るため、長期投資の重要性を訴え続けています。

長期投資の為のファンド

長期のパフォーマンスを最優先するため、分配金は全て再投資します。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して 0.1% の信託財産留保額が控除されます。

保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年 0.4935%（税抜 0.47%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 0.74% ± 0.03%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 349 号

加入協会：社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口 : 03-3988-8668（受付時間 9:00～17:00 土日祝日、年末年始除く）